

☆☆

☆ いたずら

☆ コード1 : 0 0 5 1 ファイル : c 版 : * * * 区分数 : 0 3

☆ 表記 : 悪戯, いたずら

☆☆

[慣用句等]

のような

のように

慣用表現 運命のいたずら。

他合成語 1

他合成語 2

備考 <別>「徒ら」は別見出しとする。

<関> 0 1 [行為] -> [その行為をするような性質] 0 2。0 3は、古語で性愛に関する事柄を否定的に捉えて言っていた用法から由来するものか。

[区分 0 1 / 0 3]

表記 いたずら, 悪戯 (いたずら)

意味記述 他人をからかうような悪い遊び。

意味索性 1 A C T

用例 1 その少年はいたずらが大好きだ。

連体文例 度重なる無言電話はいたずらの度を越えている。

被連体例 お転婆娘のいたずら, カラスのいたずら, ほんのいたずら。

被連体文例

S 文例

Sト文例 その子は、[ゆでた卵を冷蔵庫に入れたり、麦茶の瓶にビールを入れたりするという] いたずらを考え出した。

副文例

サ変文例 子供がいたずらした。

述 1 文例

述 2 文例 1

述 2 文例 2

述 2 文例 3

述 2 文例 4

異音同語

参照語

備考 <参> 自分のしたことを謙遜して言う場合に「手なぐさみ」という意味がある。例：ピアノを少々いたずらしています。私のピアノはほんのいたずらです。

[区分 0 2 / 0 3]

表記 いたずら, 悪戯 (いたずら)

意味記述 いつも「いたずら 0 1」ばかりするさま。

意味素性1 S T A
 用例1 幼稚園にあがると、うちの子供はとてもいたずらになった。
 連体文例 私は手がつけられないほどいたずらな子供でした。
 被連体例
 被連体文例
 S文例
 Sト文例
 副文例
 サ変文例
 述1文例 あの子はいくつになってもいたずらだ。
 述2文例1
 述2文例2
 述2文例3
 述2文例4
 異音同語
 参照語

[区分 03 / 03]

表記 いたずら, 悪戯 (いたずら)
 意味記述 相手に対し (からかい半分で) みだらな行為をはたらくこと。
 意味素性1 A C T
 用例1 彼は少女に対していたずらをした。
 連体文例 ×
 被連体例 女兒へのいたずら, 痴漢のいたずら。
 被連体文例
 S文例
 Sト文例
 副文例
 サ変文例 彼が子供にいたずらする。
 述1文例
 述2文例1
 述2文例2
 述2文例3
 述2文例4
 異音同語
 参照語

* いたずら

*

- * 表記 :いたずら, 悪戯 (いたずら)
 - * 意味記述 :他人をからかうような悪い遊び。
 - * 意味素性 1 : A C T 用例 1 :その少年はいたずらが大好きだ。
 - * 連体文例 :度重なる無言電話はいたずらの度を越えている。
 - * Sト文例 :その子は、[ゆでた卵を冷蔵庫に入れたり、麦茶の瓶にビールを入れたりするという] いたずらを考え出した。
 - * サ変文例 :子供がいたずらした。
- *****

[意味情報 1 / 1]

素性 A C T

関連 | 同義

関連 | 類義 悪ふざけ, 悪さ, いやがらせ

関連 | 対 1

関連 | 対 2

関連 | 対 3

関連 | 対 4

助数詞

[項の用法 1 / 1]

動詞 | ガ ニ | ★ | ガ | ばれる, 見つかる。

| ★ | ガ | 過ぎる。

動詞 | ヲ ガ, ニ | ★ | ヲ | する, はたらく。

ガ | (大人への / ...) ★ | ヲ | 楽しむ, 続ける, やめる。

ガ | (カラスの / ...) ★ | ヲ | 防止する。

動詞 | ニ ガ | (近所の子供の / ...) ★ | ニ | 悩む, 困る, 怒 (いか) る, 腹を | 立てる, 手を | 焼く。

動詞 | 他

動詞 | 副二

形容 | ガ | ★ | ガ | 楽しい, おもしろい。

| (学生の / ...) ★ | ガ | ひどい。

形容 | ニ

形容 | 他

形容 | 副二

名詞 | ガ

名詞 | ニ

名詞 | 他

[連体用法]

NPOノ -の度。

NPOナ

NPOノナ

連体文例 度重なる無言電話はいたずらの度を越えている。

[連体被修飾用法 1]

ノNPO

ノNPO補 サ変動詞用法参照

～ノNPO

他NPO 悪質な-, 無邪気な-, たわいない-, ちよつとした-, ほんの-, なにげない-。

被連体文例

[連体被修飾用法 2]

S平叙

S文例

Sト平叙 ～る

Sト疑問

Sト文例 その子は、[ゆでた卵を冷蔵庫に入れたり、麦茶の瓶にビールを入れたりするという] いたずらを考え出した。

[おとなが子どもの靴を隠すという] いたずらは許せない。

副平叙

副文例

備考 [Sという] 中には通常主語があらわれない。ただし特定性をもたない主語があらわれることはある。「との」不可。「とする」不可。

[サ変用法 1 / 3]

文型 NP1ガ NP0スル

格形式1 ガ

意味素性1 HUM / AML

名詞句1 彼, 子供, 中学生, 心無い者 / 子猫

ノNPO1 の

文例 子供がいたずらした。

NPOヲスル NP0ヲスル

[サ変用法 2 / 3]

文型 NP2ガ NP1ヲ NP0スル

格形式1 ガ

意味素性1 HUM / AML

名詞句1 子供, 中学生, 心無い者 / 子猫

ノNPO1 の, による

格形式2 ヲ

意味素性2 CON

名詞句2 テープレコーダー, 家の戸, 車の中にあつたマツチ

ノNP02 ×
文例 子供がテープレコーダーをいたずらする。
NP0ヲスル ×

[サ変用法 3 / 3]

文型 NP1ガ NPニ NP0スル
格形式1 ガ
意味素性1 HUM / AML
名詞句1 子供, 中学生, 心無い者 / 子猫
ノNP01 の, による
格形式2 ニ
意味素性2 HUM / AML / CON
名詞句2 友達, 先生 / のら犬, ウサギ / テープレコーダー, 家の戸, 先生の机, 銅像
ノNP02 への
文例 子供が友達にいたずらした。
NP0ヲスル NP0ヲスル

[形態情報 1 / 1]

合成語要素 いたずら
要素表記 いたずら, 悪戯 (いたずら)
補足
合成 | 名前 -者 (もの), -電話, -半分, -書 (か) き, -小僧, -盛 (ざか) り, -坊主, -娘, -っ子, -好 (ず) き, -心 (ごころ)
合成 | 名後 大-
合成 | 形 -っばい
合成 | 動 -する, -すぎる
合成 | 副
合成 | 他

* いたずら

* 区分番号 : 02 / 03 素性数 : 1

* 表記 : いたずら, 悪戯 (いたずら)

* 意味記述 : いつも「いたずら 0 1」ばかりするさま。

* 意味素性 1 : S T A 用例 1 : 幼稚園にあがると、うちの子供はとてもいたずらになった。

* 連体文例 : 私は手がつけられないほどいたずらな子供でした。

* 述 1 文例 : あの子はいくつになってもいたずらだ。

[意味情報 1 / 1]

素性 STA

関連 | 同義

関連 | 類義 いたずら好き

関連 | 対1

関連 | 対2

関連 | 対3

関連 | 対4

助数詞

[項の用法 1 / 1]

動詞 | ガ

動詞 | ヲ

動詞 | ニ ガ | ★ | ニ | なる。

動詞 | 他

動詞 | 副二

形容 | ガ

形容 | ニ

形容 | 他

形容 | 副二

名詞 | ガ

名詞 | ニ

名詞 | 他

[連体用法]

NPOノ ×

NPOナ - な子, - な子供, - な目つき。

NPOノ／ナ ×

連体文例 私は手がつけられないほどいたずらな子供でした。

[連体被修飾用法 1]

ノNPO

ノNPO補

～ノNPO

他NPO

被連体文例

[述語用法 1 1 / 1]

文型 NP1ガ NP0ダ

格形式 1 ガ

意味素性 1 HUM

名詞句 1 あの子, 私
JNPO 1 ×
文例 あの子はいくつになってもいたずらだ。
子供時代は私もいたずらで勉強はちっともしませんでした。
副詞 ととも

[形態情報 1 / 1]

合成語要素 いたずら
要素表記 いたずら, 悪戯 (いたずら)
補足
合成 | 名前 -小僧, -坊主, -っ子, -娘
合成 | 名後
合成 | 形
合成 | 動 -すぎる
合成 | 副
合成 | 他

* いたずら
* 区分番号 : 03 / 03 素性数 : 1
* 表記 : いたずら, 悪戯 (いたずら)
* 意味記述 : 相手に対し (からかい半分で) みだらな行為をはたらくこと。
* 意味素性 1 : A C T 用例 1 : 彼は少女に対していたずらをした。
* サ変文例 : 彼が子供にいたずらする。

[意味情報 1 / 1]

素性 A C T
関連 | 同義
関連 | 類義 性的いやがらせ, 痴漢行為
関連 | 対 1
関連 | 対 2
関連 | 対 3
関連 | 対 4
助数詞

[項の用法 1 / 1]

動詞 | ガ | (女児への / …) ★ | ガ | 続く, 増える, 減る。
ガ, ニ | (その女性への / …) ★ | ガ | 見つかる, ばれる。
動詞 | ヲ | ガ, ニ | ★ | ヲ | する, はたらく, やめる。

動詞 | ニ

動詞 | 他 ガ | (女子生徒への／…) ★ | デ | 捕まる。

動詞 | 副ニ

形容 | ガ

形容 | ニ

形容 | 他

形容 | 副ニ

名詞 | ガ

名詞 | ニ

名詞 | 他

[連体用法]

NPOノ ×

NPOナ ×

NPOノ／ナ ×

連体文例 ×

[連体被修飾用法 1]

ノNPO

ノNPO補 サ変動詞用法参照

～ノNPO

他NPO

被連体文例

[サ変用法 1 / 1]

文型 NP1ガ NPニ NP0スル

格形式 1 ガ

意味素性 1 HUM

名詞句 1 彼, 男, 痴漢, 変質者

ノNPO 1 の, による

格形式 2 ニ

意味素性 2 HUM

名詞句 2 子供, 人妻, 女子生徒

ノNPO 2 への

文例 彼が子供にいたずらする。

NPOヲスル NP0ヲスル

[形態情報 1 / 1]

合成語要素 いたずら

要素表記 いたずら, 悪戯 (いたずら)

補足

合成 | 名前 - 中 (ちゅう) , - 前, - 後

合成 | 名後

合成 | 形

合成 | 動 - する

合成 | 副 - 前, - 後, - 中 (ちゅう)

合成 | 他